

就職ジャーナル版 『就職白書 2007』

『2009年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』【企業回答】
『2008年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』【学生回答】から見る
就職・採用活動状況のまとめ

株式会社リクルート
就職ジャーナル編集長 川上 直哉

この度、就職ジャーナル編集部では、就職・採用活動について、企業と学生に向けて調査を行いました。企業については、2008年3月卒業予定者の採用実施状況および、2009年3月卒業予定者の採用予定や採用手法等について調査。同時に、学生についても、2008年3月卒業予定者に活動状況調査を実施。その調査結果がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。

調査結果の概要

《採用マーケットの動向》

■08卒新卒採用において、採用人数が「計画より少なかった」企業の割合は4割弱。昨年度から引き続き、採用難の傾向が見られる。

08卒新卒採用における採用人数について、「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」と回答した企業の割合は合わせて39.4%となり、昨年度（40.6%）よりは微減したものの、依然として採用難の傾向が続いていることがうかがえる結果となった。（詳細 P.3）

■08卒新卒採用スケジュールは前年より「早まった」。09卒新卒採用スケジュールも、さらなる早期化および長期化の見通し。

08卒新卒採用のスケジュールについて、「早まった」と答えた企業は51.2%にのぼり、昨年度（49.0%）を上回って5割超となった。09卒新卒採用スケジュールの見通しについても、「早まる」とした企業は41.4%と昨年度（40.4%）を上回っている。また、採用活動の期間については、「エントリー受付期間」が「長くなる」という回答が33.3%と、昨年度（28.2%）を5.1ポイント上回った。09卒新卒採用においては、採用スケジュールの早期化および長期化が見込まれる。

また早期化の背景として多く挙げたのは「優秀な人材の確保（82.9%）」「競合対策（56.9%）」などとなり、より優秀な人材を確保すべく、採用競合に先駆けて活動を開始する企業が多いことがうかがえる。（詳細 P.4）

《企業側の取り組み》

■説明会・セミナーやインターンシップを積極的に開催。学生との接点を増やし、情報開示に努めている。

09卒新卒採用における説明会・セミナー開催方針については、08卒新卒採用に比べて「受け入れる学生数を増やす」「開催地（場所）を増やす」などを予定している企業が多く見られた。またインターンシップを「実施した」と回答した企業の割合は年々増加しており、今年度は34.5%と、昨年度（29.6%）を4.9ポイント上回る結果となった。（詳細 P.5、6）

《学生側の動き》

■インターンシップや合同セミナー・説明会への参加率は年々増加。就職活動初期は意欲的に動いている様子がうかがえる。

インターンシップについては、「参加した」と回答した学生は22.9%となり、昨年度（19.1%）を上回った。参加した社数の平均も、同様に年々増加している。また合同セミナー・説明会への参加率も91.4%と9割を超え、昨年度の86.6%からさらに上昇。インターンシップや合同セミナー・説明会への参加など、就職活動初期段階の活動に対しては、積極的に動いている様子がうかがえる。（詳細 P.7）

■就職活動を通して得る内定社数の平均は、年々増加を続けている。

学生が就職活動を通して得る内定社数の平均は2.33社となり、昨年度（2.25社）を上回って4年連続で増加を続けていることが明らかとなった。

これに伴い、内定を辞退した企業が「ある」と回答した割合も65.2%となり、昨年度（63.4%）を上回っている。（詳細 P.8）

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit.jp/support/inquiry_press.html

INDEX

I 新卒採用マーケットの状況	
a) 08卒採用活動における採用計画について	【企業回答】 P.3
b) 08卒採用スケジュールの結果、および09卒採用スケジュールの見通し	【企業回答】 P.4
II 採用活動における企業の取り組み	
a) 説明会・セミナーの開催について	【企業回答】 P.5
b) インターンシップの実施について	【企業回答】 P.6
III 学生の動き	
a) インターンシップ、合同セミナー・説明会への参加について	【学生回答】 P.7
b) 内定社数、内定辞退率について	【学生回答】 P.8
IV 企業と学生のギャップ	
a) 自己分析・業界研究などについて、学生の自己評価と企業の評価のギャップ	【企業・学生回答】 P.9
b) 学生の「知りたかった項目」と「知ることができた項目」とのギャップ	【学生回答】 P.10

調査概要

【企業回答】

『2009年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』

調査対象：全国の企業3,685社

調査方法：郵送法

集計社数：861社

調査期間：2007年9月14日～10月5日

◆参考：業種別の回答企業シェア

	数	割合
全体合計	861	100.0%
メーカー	304	35.3%
商社	105	12.2%
百貨店・スーパー・専門店	114	13.2%
金融	62	7.2%
建設・不動産	63	7.3%
出版・報道・広告	23	2.7%
情報・通信	63	7.3%
サービス	127	14.8%

◆参考：従業員規模別の回答企業シェア

	数	割合
全体合計	861	100.0%
100人未満	21	2.4%
100～299人	139	16.1%
300～999人	300	34.8%
1000～4999人	308	35.8%
5000人以上	93	10.8%

【学生回答】

『2008年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』

調査対象：2008年3月卒業予定の全国4年制大学生

男女20,979名

(リクナビ会員より無作為抽出)

調査方法：インターネット調査

集計人数：1,828名

調査期間：2007年9月14日～10月5日

【昨年度企業回答】

『2008年3月卒業予定者の採用に関するアンケート』

調査対象：全国の企業3,670社

調査方法：郵送法

集計社数：942社

調査期間：2006年9月16日～10月6日

【昨年度学生回答】

『2007年3月卒業予定者の就職活動に関するアンケート』

調査対象：2007年3月卒業予定の全国4年制大学生

男女17,862名

(リクナビ会員より無作為抽出)

調査方法：インターネット調査

集計人数：1,790名

調査期間：2006年9月16日～10月5日

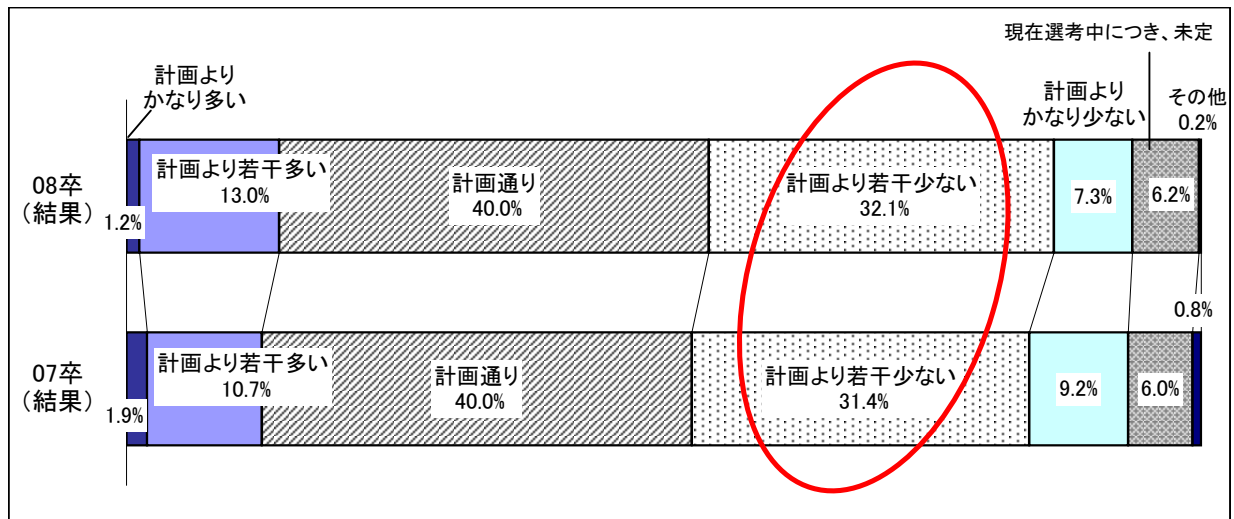
I 新卒採用マーケットの状況

a) 08卒採用活動における採用計画について【企業回答】

08卒新卒採用において、採用人数は計画通りだったかという質問では、「計画より若干少ない」と回答した企業が32.1%となり、昨年度（31.4%）をやや上回った。「計画よりかなり少ない」と合わせると、4割弱の企業が「計画より少ない」と考えており、依然として採用人数が計画を下回る傾向が続いていることが明らかとなった。

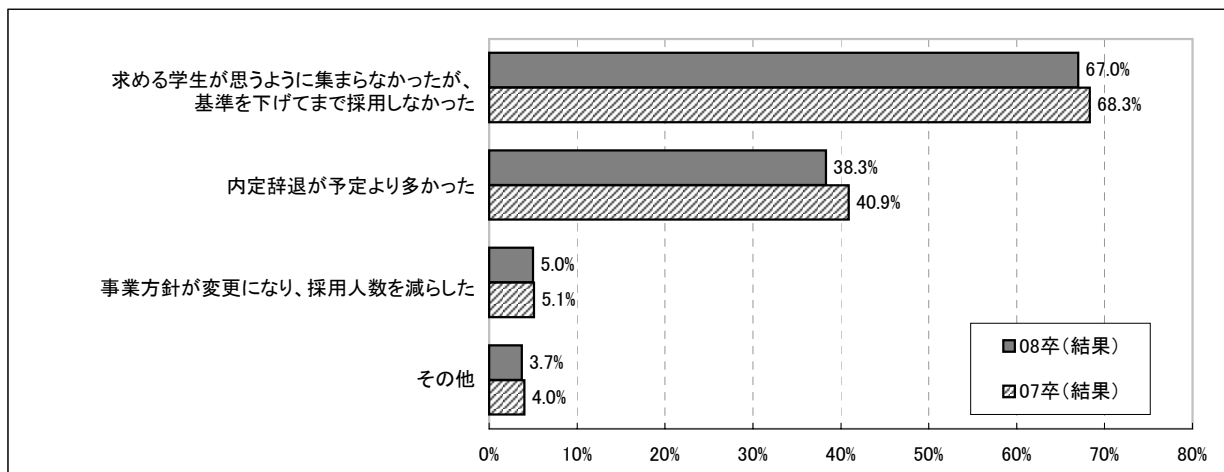
また採用数が計画に満たなかった理由としては、昨年同様、「求める学生が思うように集まらなかったが、基準を下げてまで採用しなかった」が最も多く67.0%。採用難だが、人材レベルは下げたくないとの企業の要望がうかがえる結果となった。

◆新卒採用において、採用人数は計画通りだったか（単一回答 08卒：N=836、07卒：N=882）



◆新卒採用において、採用数が計画より少なかった理由（複数回答 08卒：N=321、07卒：N=350）

※採用数が「計画より若干少ない」「計画よりかなり少ない」と回答した企業のみ



※データは無回答サンプルを除いて集計しています。

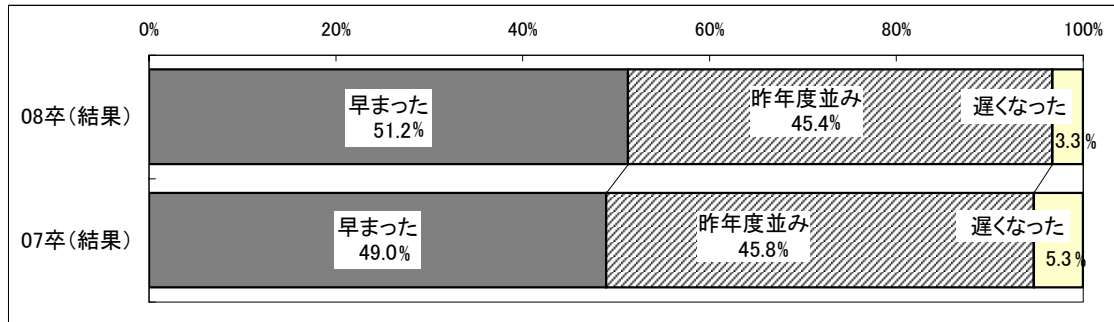
※質問項目が単一回答の場合、%の合計が100.0にならない場合があります（次ページ以降も同様）。

I 新卒採用マーケットの状況

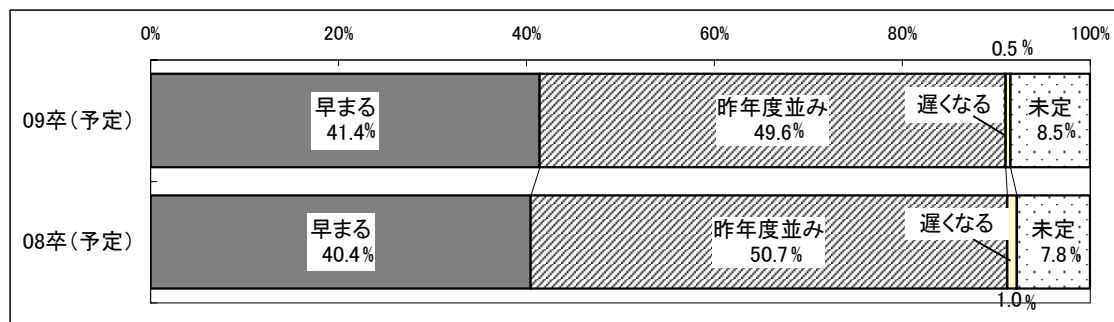
b) 08卒採用スケジュールの結果、および09卒採用スケジュールの見通し【企業回答】

08卒新卒採用のスケジュールについて、「早まった」と答えた企業は51.2%にのぼり、昨年度（49.0%）を上回って5割超となった。また09卒新卒採用スケジュールの見通しについても、「早まる」とした企業は41.4%と昨年度（40.4%）を上回っている。
 また、採用活動の期間についての質問では、エントリー受付期間が「長くなる」という回答が33.3%と3割を超え、昨年度（28.2%）を上回った。
 09卒新卒採用においては、スケジュールの早期化および長期化が見込まれる。

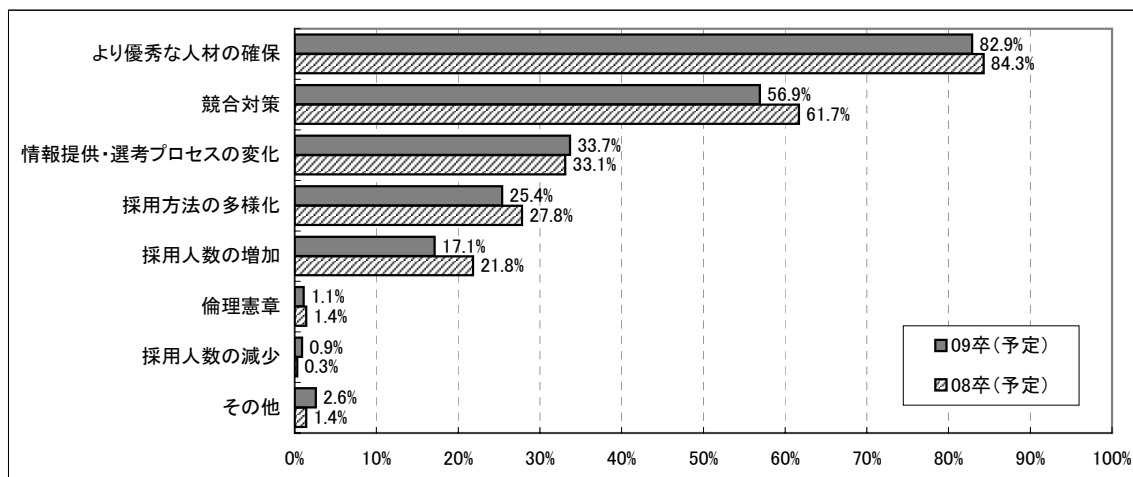
◆08卒新卒採用スケジュール（単一回答 08卒：N=845、07卒：N=913）



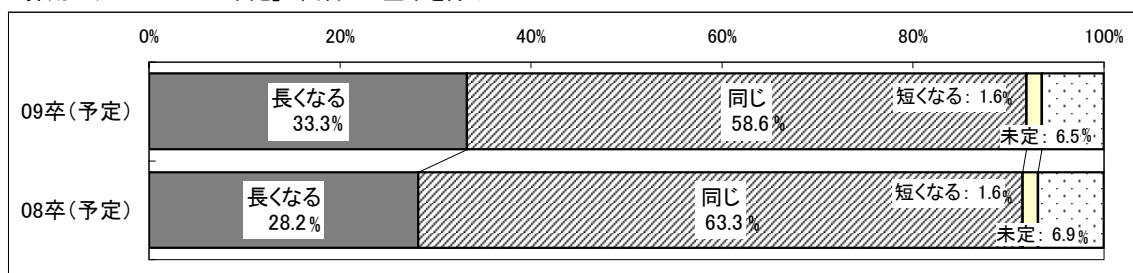
◆09卒新卒採用スケジュールの見通し（単一回答 09卒(予定)：N=846、08卒(予定)：N=905）



◆09卒新卒採用スケジュールが早まる背景（複数回答 09卒(予定)：N=350、08卒(予定)：N=363）
 ※採用スケジュールが「早まる」と回答した企業のみ



◆09卒新卒採用において、エントリー受付期間の予定（単一回答 09卒(予定)：N=676、08卒(予定)：N=578）
 ※採用スケジュールが「未定」と回答した企業を除く

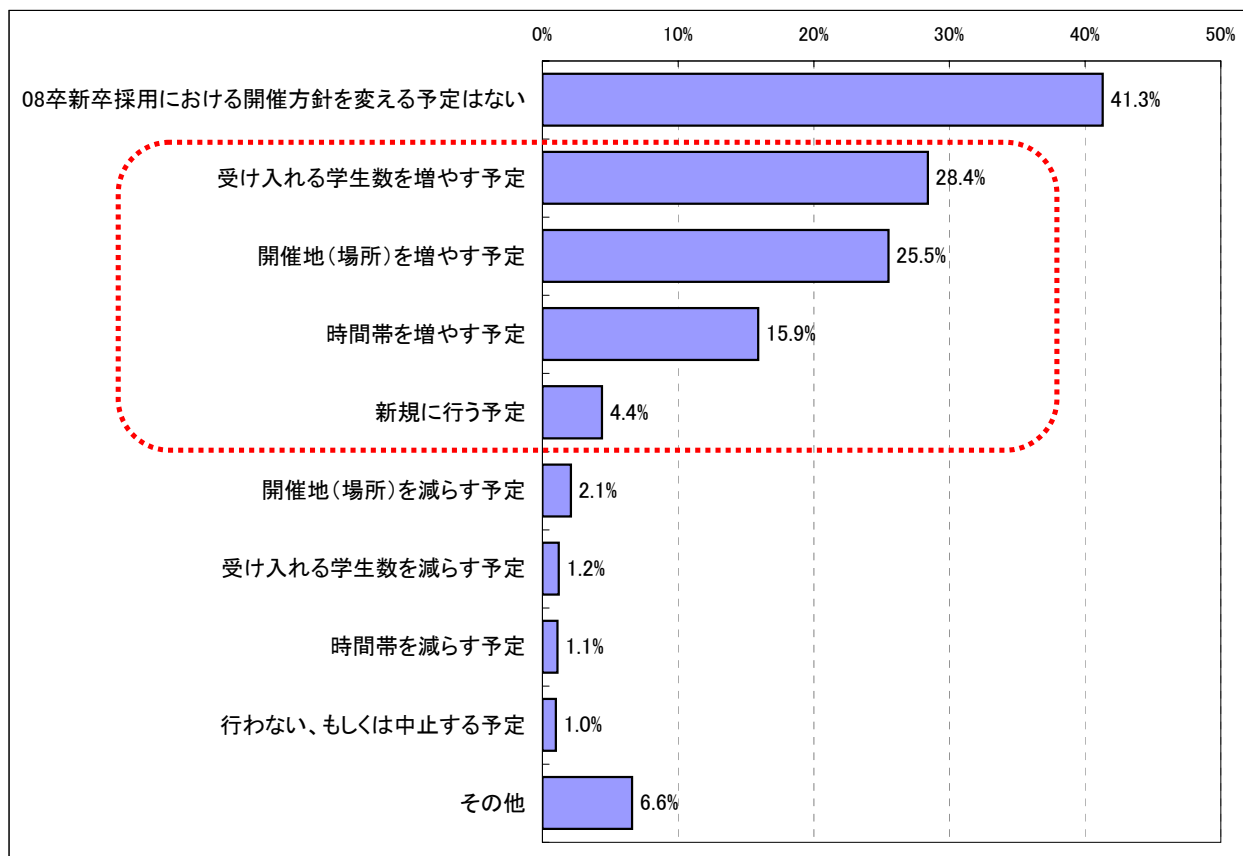


II 採用活動における企業の取り組み

a) 説明会・セミナーの開催について【企業回答】

説明会・セミナーの開催について、09卒新卒採用活動における具体的な方針を問う質問では、「受け入れる学生数を増やす」「開催地を増やす」「時間帯を増やす」など、08卒新卒採用活動よりも学生との接点を増やす方針をとる企業が多く見られた。

◆09卒新卒採用における説明会・セミナー開催についての方針（複数回答 09卒(予定):N=809)

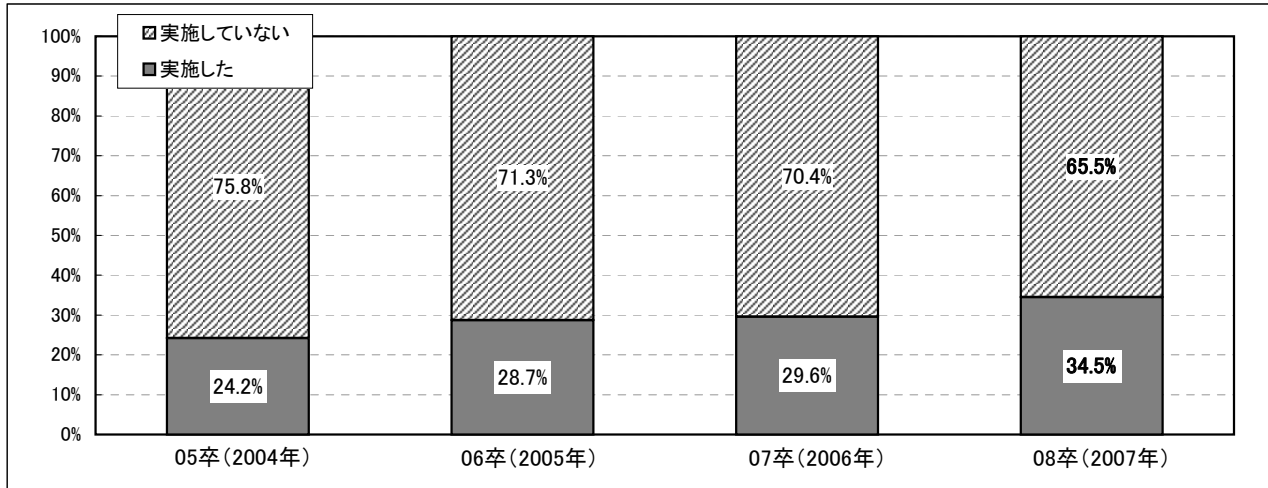


II 採用活動における企業の取り組み

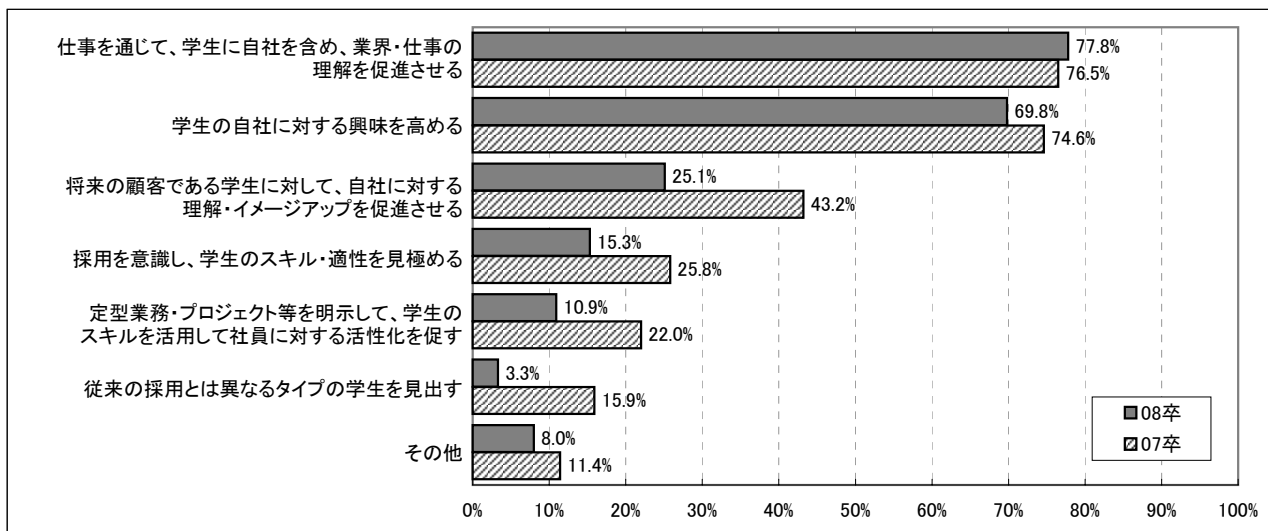
b) インターンシップの実施について【企業回答】

インターンシップの実施について、08卒新卒採用において「実施した」と回答した企業は34.5%となり、昨年度（29.6%）を4.9ポイント上回った。05卒調査（2004年）からの4年間の変化を見ても、実施率は年々増えていることがわかる。採用活動において、企業がインターンシップの実施に積極的に取り組んでいることがうかがえる。

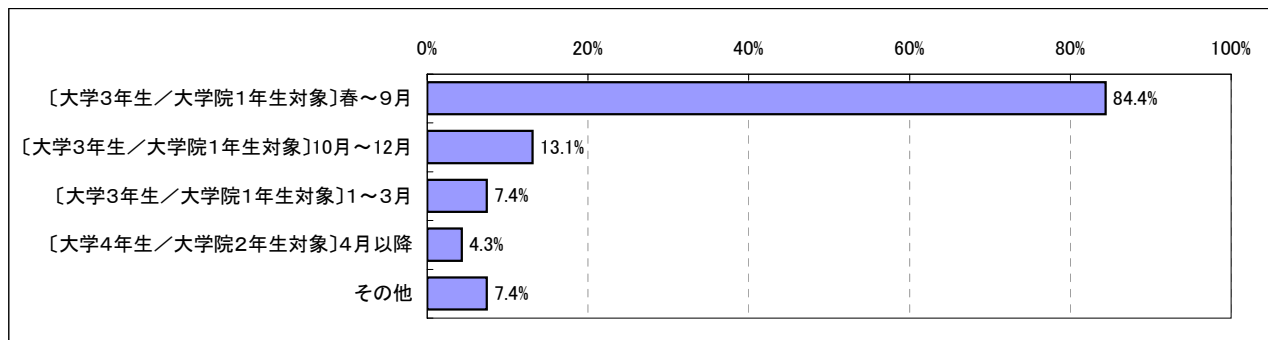
◆新卒採用における、インターンシップ実施状況
 (単一回答 08卒:N=832、07卒:N=906、06卒:N=839、05卒:N=961)



◆新卒採用において、インターンシップを実施した目的 (複数回答 08卒:N=275、07卒:N=264)
 ※インターンシップを「実施した」と回答した企業のみ



◆08卒新卒採用における、インターンシップの実施時期 (複数回答 08卒:N=282)
 ※インターンシップを「実施した」と回答した企業のみ

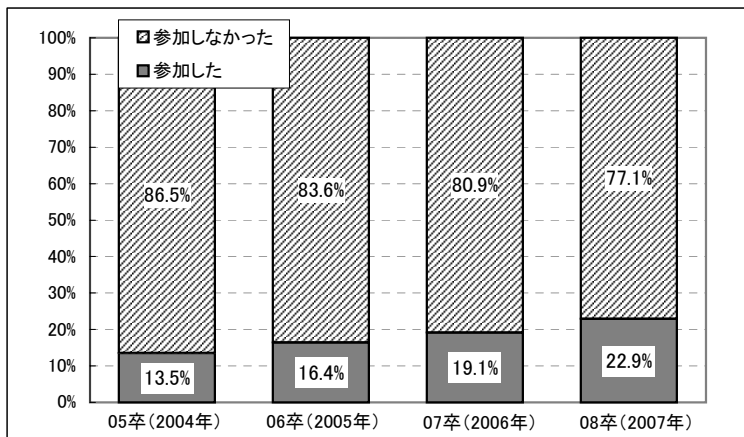


Ⅲ学生の動き

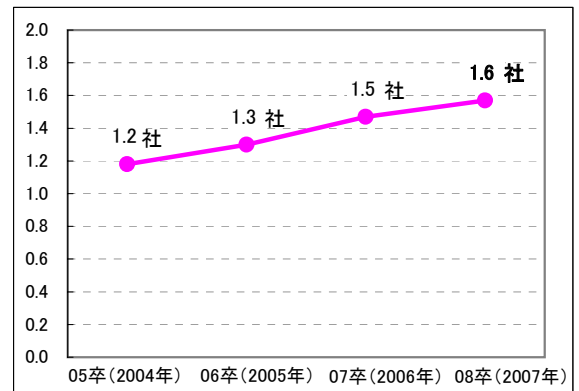
a) インターンシップ、合同セミナー・説明会への参加について【学生回答】

インターンシップについて、続いて学生側の参加状況を見ると、「参加した」が22.9%となり、昨年度（19.1%）を3.8ポイント上回った。企業のインターンシップ実施率と同じく、学生の参加率もから年々増加していることがわかる。一方、インターンシップに「参加しなかった」人のうち、「非常に参加したかった」（12.2%）「どちらかというに参加したかった」（36.4%）と回答した人は合わせて約半数にのぼった。合同セミナー・説明会については、「参加した」が91.4%となり、参加する学生の割合は9割を超えた。参加回数の平均を見ても、昨年度（5.0回）を上回って6.2回となっている。学生は、インターンシップや合同セミナーへ積極的に参加するようになってきていることが分かる。

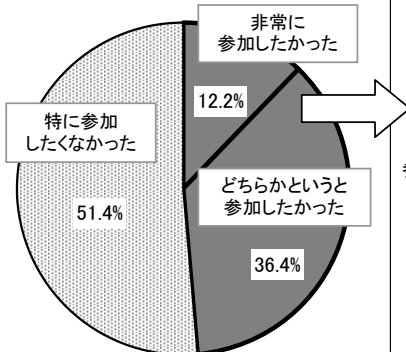
◆インターンシップに参加したか
（単一回答 08卒：N=1726、07卒：N=1692、06卒：N=1591、05卒：N=1440）



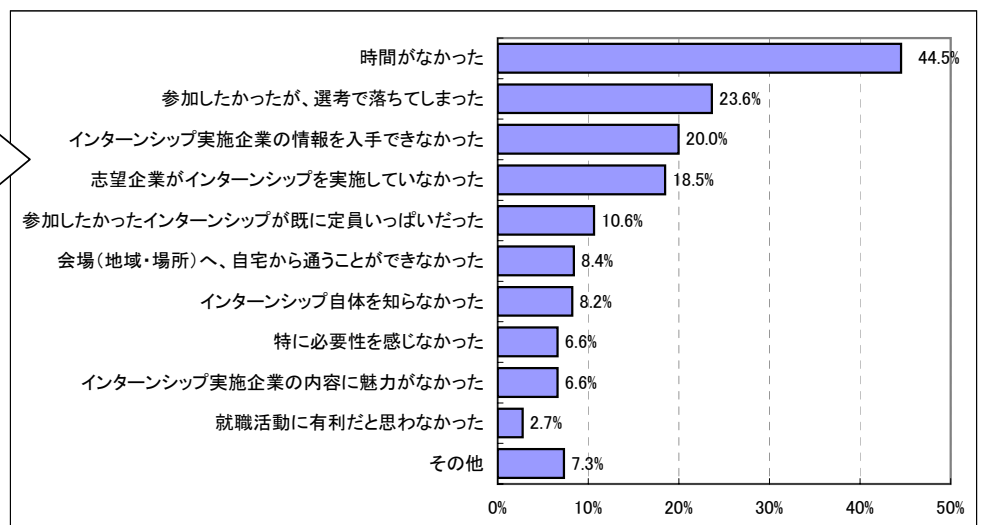
◆インターンシップ参加社数の平均
（08卒：N=395、07卒：N=294、06卒：N=244、05卒：N=183）
※インターンシップに「参加した」と回答した学生のみ



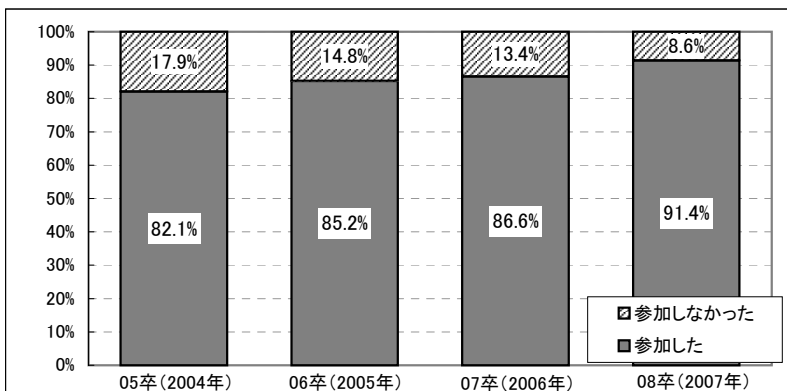
◆本当はインターンシップに参加したかったか
（単一回答 08卒：N=1123）
※インターンシップに「参加しなかった」と回答した学生のみ



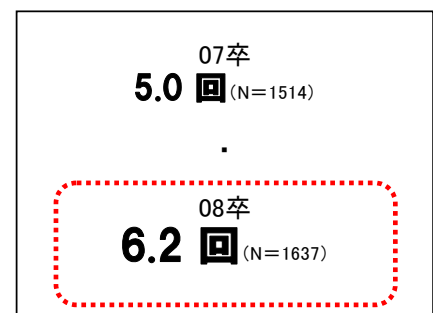
◆インターンシップに「参加したかった」人について、参加しなかった理由（複数回答 08卒：N=546）
※「非常に参加したかった」「どちらかというに参加したかった」と回答した学生のみ



◆合同セミナー・説明会に参加したか
（単一回答 08卒：N=1804、07卒：N=1764、06卒：N=1652、05卒：N=1492）



◆合同セミナー・説明会への参加回数の平均
※合同セミナー・説明会へ「参加した」と回答した学生のみ

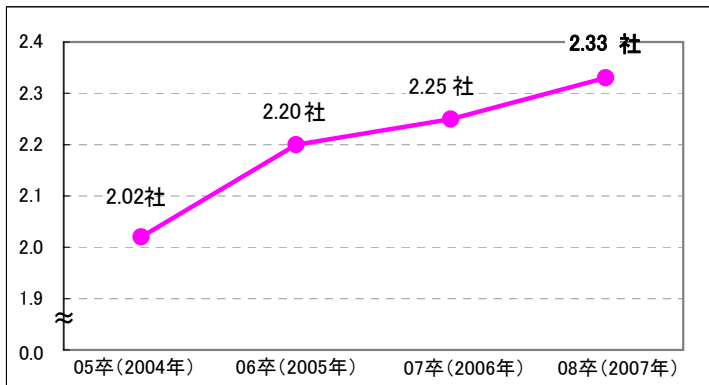


Ⅲ 学生の動き

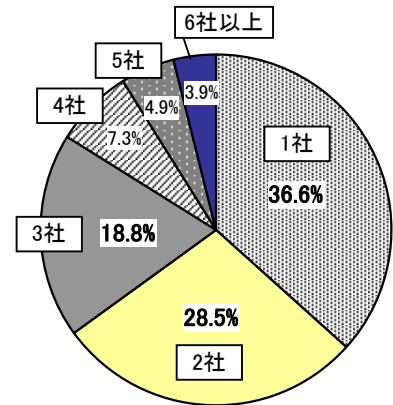
b) 内定社数、内定辞退率について【学生回答】

学生が就職活動を通じて得る内定社数の平均を経年で見ると、ここ4年間で増加を続けている（05卒調査（2004年）：2.02社⇒08卒調査（2007年）：2.33社）。それに伴い、内定辞退した企業が「ある」と回答した学生も65.2%にのぼり、昨年度（63.4%）を上回った。辞退に対する罪悪感も、「とても強く感じた」割合がやや減り、「やや感じた」との差が縮まっている。
一方で企業にとっては、内定辞退を「かなり問題視している」とする割合が59.7%となり、6割近い企業が強く問題視していることが明らかとなった。

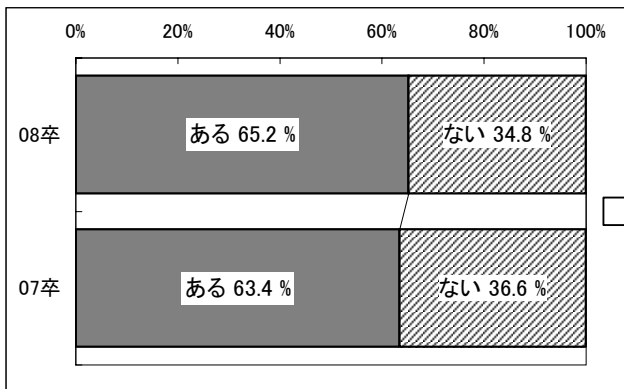
◆内定社数の平均
(08卒:N=1660、07卒:N=1608、06卒:N=1487、05卒:N=1345)



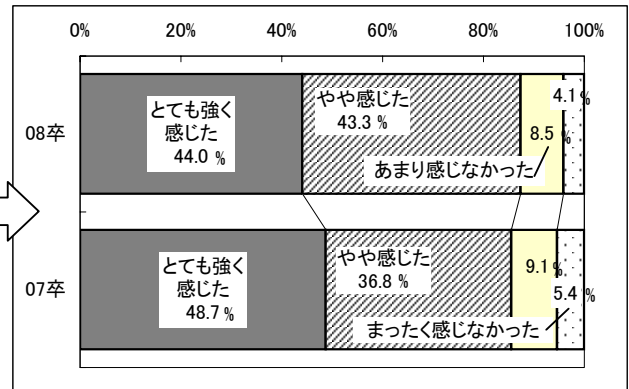
◆内定社数の内訳 (08卒:N=1660)
※内定企業が「ある」と回答した学生のみ



◆内定辞退した企業はあるか
(単一回答 08卒:N=1642、07卒:N=1563)
※内定企業が「ある」と回答した学生のみ

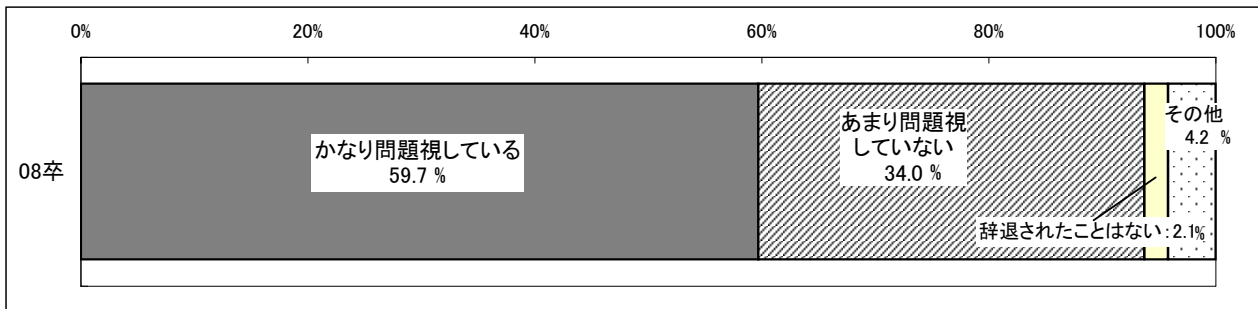


◆内定辞退について罪悪感を感じたか
(単一回答 08卒:N=1065、07卒:N=986)
※内定企業が「ある」と回答した学生のみ



《参考～企業回答～》

◆内定辞退について問題視しているか【企業】 (単一回答 08卒:N=827)



IV 企業と学生のギャップ

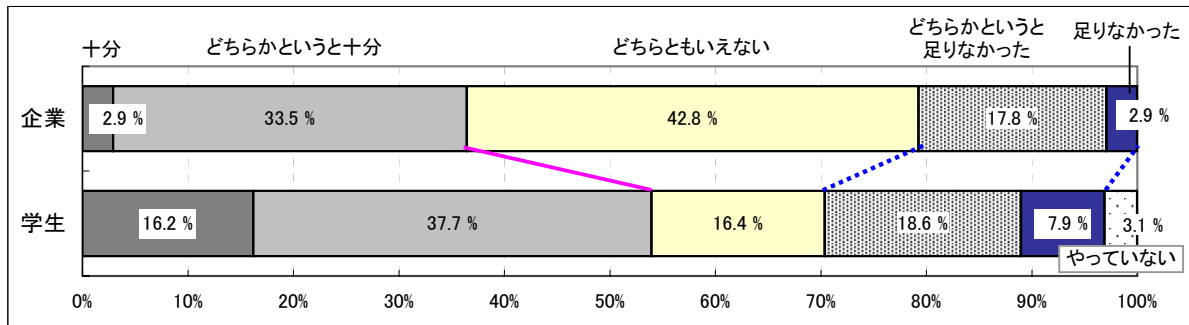
a) 自己分析・業界研究などについて、学生の自己評価と企業の評価のギャップ【企業・学生回答】

就職活動を行ってきた中での、自己分析や業界・企業研究などについての学生の自己評価を、企業からの評価と比較してみた。すると、「自己分析」「業界研究」「企業研究」「仕事研究」の4つすべての項目について、学生が「十分」「どちらかという十分」と回答した割合は、企業が十分だと評価した割合を上回っている。逆に、企業が学生の自己評価を上回って「足りなかった」「どちらかという足りなかった」と思っているケースが多い。

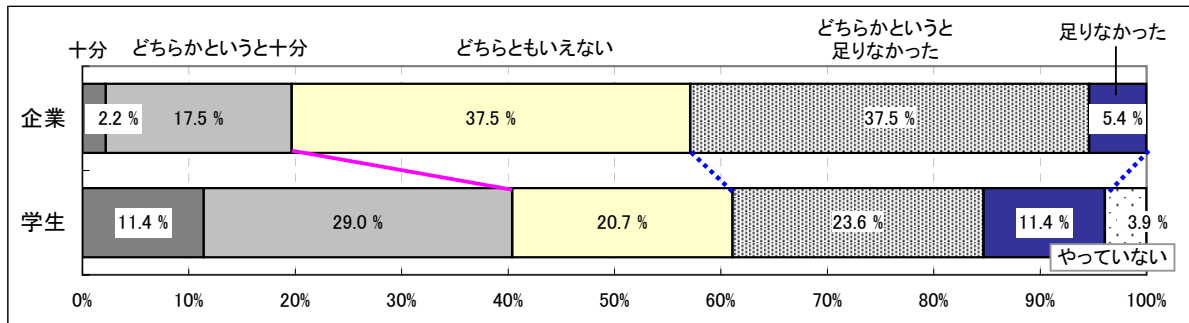
学生は自己分析や業界研究などを「十分」と思っているのに対し、企業はそれほど評価していないというギャップが明らかとなった。

◆ 自己分析・業界研究などについての、学生の自己評価と企業からの評価の差

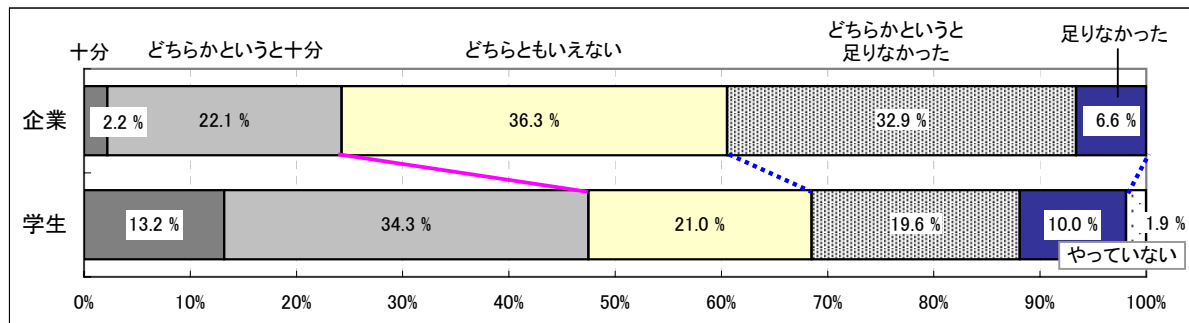
《自己分析》（単一回答 08卒：企業N=824、学生N=1824）



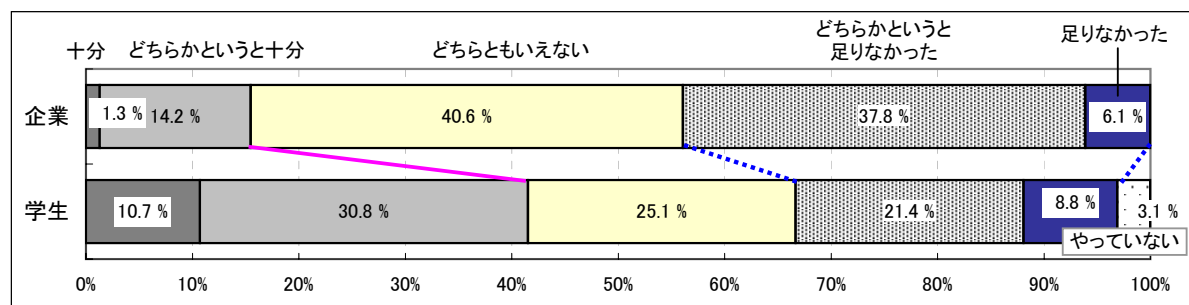
《業界研究》（単一回答 08卒：企業N=822、学生N=1822）



《企業研究》（単一回答 08卒：企業N=824、学生N=1826）



《仕事研究》（単一回答 08卒：企業N=823、学生N=1822）



IV 企業と学生のギャップ

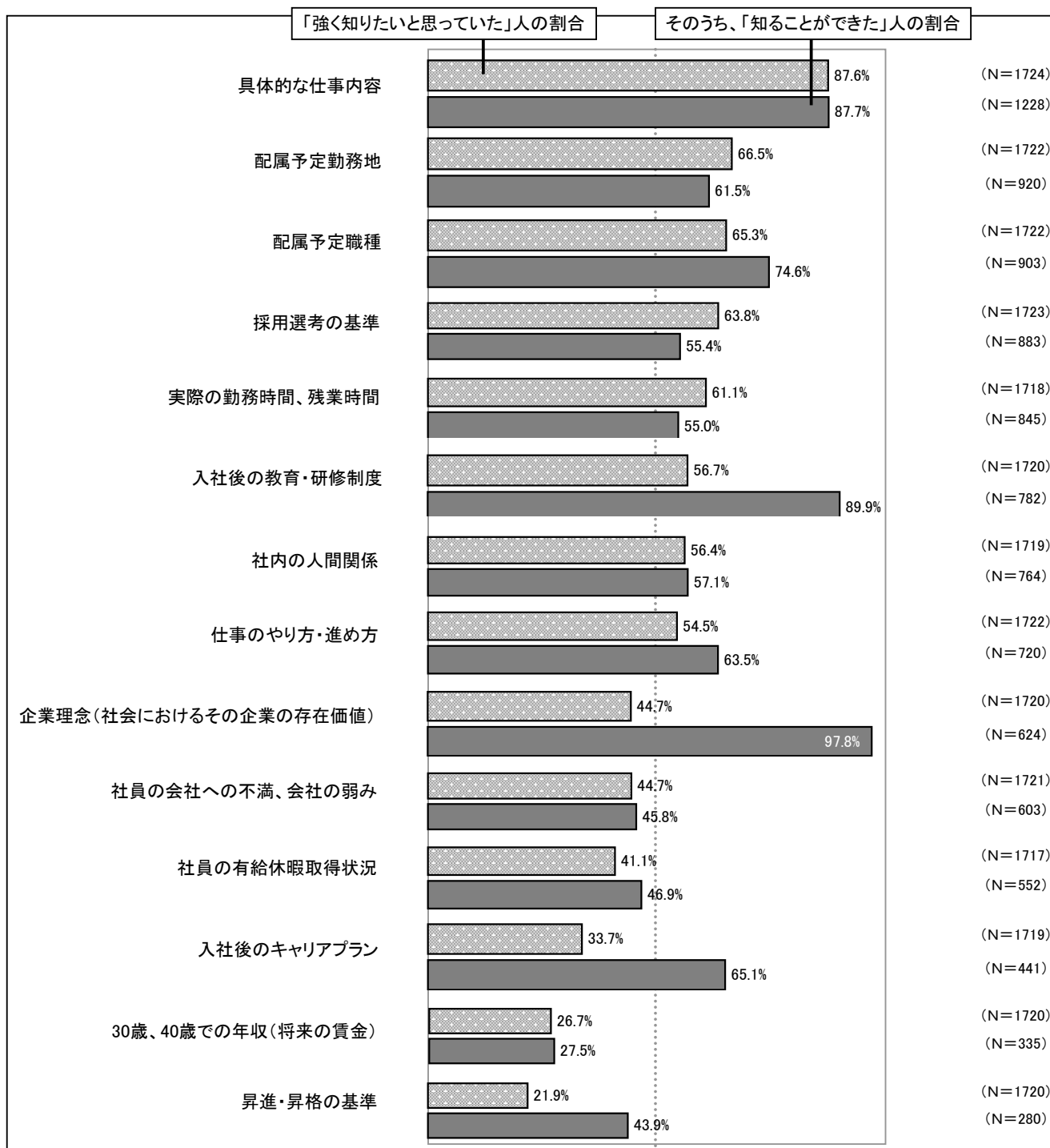
b) 学生の「知りたかった項目」と「知ることができた項目」とのギャップ【学生回答】

企業に関する情報のうち、就職活動中に学生が「強く知りたいと思っていた」割合と、その中で実際に「知ることができた」割合を見ると、実際に「知ることができた」割合が高いのは、「企業理念」(97.8%)や「入社後の教育・研修制度」(89.9%)、「具体的な仕事内容」(87.7%)といった項目である。

一方、「強く知りたいと思っていた」割合が50%以上の項目のうち、「実際の勤務時間、残業時間」(55.0%)や「採用選考の基準」(55.4%)、「社内の人間関係」(57.1%)といった項目については、実際に「知ることができた」割合が50%台にとどまった。

労働実態や人間関係など、働くうえでのよりリアルな情報を提供することが望まれていると言えるだろう。

◆強く知りたいと思っていた項目と知ることができた割合 (※Nは項目ごとに、算出方法は下に表記)



※算出方法 それぞれの項目に対し、
 ①強く知りたいと思っていた／②できれば知りたいと思っていた／③特に知りたいと思わなかった(単一回答)を質問(「強く知りたいと思っていた」人の割合)。
 さらに①(強く知りたいと思っていた)と回答した人のうち、
 ①知ることができた／②知ることができなかった(単一回答)で①(知ることができた)と回答した人の割合を出した。